

議員行政視察報告

教育の方針や木の学校づくりを学ぶ

平成28年11月1日(火)～2日(水)

参加議員 大館秀孝・鈴木真徳・齋藤永・石内浩・小澤啓司・利根川茂
飯田一・中野博・南雲まさ子・井上栄一・田代実・平野由里子

義務教育費を無償化

山梨県早川町は、県の南西部に位置し、山々に囲まれた自然豊かな町で、戦後、水力発電所の工事関係者の流入により人口は、約1万人まで急増したが、発電所の無人化に伴い減少し、2015年の国勢調査では、1035人となっています。



町長・教育長の説明を受ける

小学校は、6校あったが、現在は早川南小学校と早川北小学校の2校で、過去最高の1256人の児童がいた最盛期に比べ、現在早川南小学校は24人、早川北小学校は13人となりましたが、統合せずにいます。

これらの課題を解決するため町長は「教育に力を入れる」と言い、小中学校教材費等無償化事

業・出生から義務教育終了までの医療費補助金交付事業・学校給食無料化事業・頑張る若人応援事業・保育所給食費補助金交付事業・山村留学制度を創設するなど、少子化対策として子育てに必要な事業を行っています。日本一人口が少ない町の、日本一素敵な学びができる学校の挑戦は、全国に広がっています。(記・齋藤永)

檜を中心に 木造仕上げ

長野県木曾町は、平成17年木曾郡内に11町村が平成の市町村大合併の波に乗り、「木曾市」をめざしたが、旧木曾福島

町、開田村、日吉村、三岳村だけで「木曾町」となった。三岳小学校は、あの御岳山のふもとにあり、旧三岳村が建設した木造二階建てです。

昭和61年より旧三岳村民集会所を兼ね、1300人の村民の栄智を結集し、日本有数の「檜」の産地の木材を活用し、平成9年に完成しました。校舎、体育館で3800

m、総工費12億7千万円で、現在の生徒数は40名です。特に校舎の中央にある4階建ての図書室、ミーティングルーム、多目的ホールなどは一般町民も利用可能であり、欧州各国にある宗教の建物のように、三岳地区内の



三岳小学校玄関前

どこからでも見えることができ、まさにランドマークです。

御岳山ふもと、自然にあふれ、素晴らしい教育環境で育った子供達で、明日の信濃を背負っています。大いに期待しています。(記・利根川茂)

柱は原生林を イメージ

長野県川上村の川上中学校は、現在生徒数128名、川上村の唐松をふんだんに使い、村有林32haから切り出された木材を建物の構造・外装・内装に使用し、平成20年7月に完成しました。川上村を担う生徒を育て、村民が集う場になるよう校舎を設計し、柱は原生林をイメージしています。

「コミュニケーション」の機能を持たせるために、社会的活動の一環として体育館と音楽堂は村民用の入り口を設けると共に、簡単に分けでき



川上中学校全景

るような仕組みを持たせています。補助金を使い分けて学校の中に村民用の施設を設けたことも特徴です。

校舎は2階建てですが、廊下は松田小学校の1.5倍以上の広さと、教室の天井も高く、給食室にはシャンデリアもあり、結婚式もあげられるような設計となっています。太陽の熱を利用した、夏涼しく、冬暖かいパッシブソーラーシステムを採用し寒冷地での暖かい室内環境とランニングコストの削減を実現させた余裕たっぷりの建築に圧倒され、すぐく豪華さを感じ、建築費が19億7400万円と聞きつなげました。(記・飯田一)



長野県

木曾町

川上村

山梨県

早川町